消防ポンプ自動車仕様書（ＣＤ－Ⅰ型　Type Ｂ）

Ⅰ　総則

この仕様書は、近江八幡市が平成２４年度に発注する近江八幡市消防団消防ポンプ自動車（以下「消防車」という。）の仕様について定める。

１　この消防車は、消防ポンプ自動車仕様書（以下「本仕様書」という。）及び承認図（契約後受注者にて製作する。）によるほか、次の関係法令等に適合したものとする。

（１）　道路運送車両法及び道路運送車両の保安基準に適合し、緊急自動車として滋賀県公安委員会の承認が得られるものであること。

（２）　法定の点検整備が容易に行えるものであること。

（３）　国が行う補助の対象となる消防施設の基準をすべて満たすものであること。

２　この消防車は、ダブルキャブオーバー型３㌧級消防専用シャシに、高圧二段バランスタービンポンプを装備し、消火栓・河川等の水利より給水し強力な放水をなし、火災時に迅速・的確な消防活動に供することを目的とし製作するもので、各部構造・装置は堅牢で耐久性に富み、火災活動の酷使に充分耐え得るものとする。

３　契約にあたっては、本仕様書を承認し不明な点は近江八幡市と協議し十分熟知のうえ契約するものとし、契約後の一切の疑義はすべて近江八幡市の解釈に従うものとする。

４　受注者は、本仕様に基づく製作が完全に施工できるよう事前検討を行い、車両の納入までに発生したいかなる事故に対してもその責任を負うものとする。

５　製作の進行に伴い、諸々の理由により本仕様書並びに承認図の変更を必要とするとき、あるいは疑義の生じたときは直ちに近江八幡市に連絡し、その指示を受けた後速やかに確認の図書を提出し、承認を受けるものとする。

６　製作に先立ち、受注者は下記の図書（各２部）を契約後３０日以内に提出して承認を受けると共に、近江八幡市担当者と製作上の細部にわたり十分打ち合わせを行い、指示を受けるものとする。

（１）　承認提出書類

　ア　製作工程表

　イ　艤装概要図

　ウ　骨組み、配管、配線図

　エ　諸元明細表

　オ　その他近江八幡市が指示する図書

７　納車時に下記の書類（(1)ア～エは各２部、オは１部）を提出するものとする。

（１）　納車時提出書類

　ア　艤装の最終図面

　イ　車両及び各積載品の取扱説明書

　ウ　積載品の一覧表（製造会社及び連絡先）

　エ　中間写真（完成までの工程）

　オ　保証書

　カ　転覆角度試験証明書

　キ　重量測定報告書

８　車両の製作は、消防用車両の安全基準検討委員会が定める「消防用車両の安全基準について」の項目を満足し、ISO 認証取得による品質管理システムにて製造が行われていること。

９　検査

（１）　中間検査

艤装状況及び装備品、付属品の取付け状況を確認し、指示または協議のため近江八幡市担当者が施工工場に出向する。

（2）　完成検査

納入に際して下記の検査を行う。但し、検査に必要な機器は受注者で用意する。

ア　ポンプ性能検査

イ　各種装置の機能検査

ウ　主要装備品、付属品

エ　車両走行運転試験

10　保証期間は、１年間とする。ただし保証期間後であっても設計不良、工作不良ならびに材質不良に起因する故障が生じた場合は、無償で部品の修理交換を行うものとする。

なお、シャシ（車台）や特殊な装置及び機材等でメーカーが保証期間を定めているものについてはメーカーの保証期間とする。

11　納入にかかわる費用のうち、自動車重量税、自動車損害賠償保険料（24ヶ月分）は発注者が別途負担するものとし、登録手数料、登録諸経費、リサイクル料金及び廃車諸経費等のその他の経費は見積価額に含めるものとする。

12　廃車車両は、現予備車の消防ポンプ自動車（ＢＤ－Ⅰ型：滋賀８８す２４７６）及び（ＢＤ－Ⅰ型：滋賀８８す２６３２）とし、左右ドア部の「近江八幡市消防団」文字（２箇所）の削除及び消防団章・サイレンアンプ・スピーカー・モーターサイレン・標識灯・回転灯の取り外しは受注者において行い近江八幡市が確認する。なお、現安土分団車両（ＢＤ－Ⅰ型：滋賀８８す３９０２）は市予備車として市役所車庫での保管とする。

13　納期

平成２５年２月２８日（木）までに近江八幡市安土町総合支所（近江八幡市安土町小中 1 番地 8）へ完成車を納入する。

Ⅱ　シャシ（車台）仕様

１　消防車に使用するシャシは、国家消防検定に合格した３㌧級ＣＤ－Ⅰ型　Ｔｙｐｅ　Ｂ　適応の消防専用車両とする。

２　この仕様書において、指定した以外の装備については、消防シャシとしてメーカーが公表した標準取付品を装備する。

３　車両主要諸元及び装備

（1）　シャシ　　　　平成２４年式・３トン車（日野自動車・トヨタ自動車・日産自動車・いすゞ自動車製）

（2）　エンジン　　　出力１３０PS 以上のディーゼルエンジン

（3）　ホイルベース　２，７００以上

（4）　オルタネーター　２４Ｖ・メーカー標準品

（5）　キャビン　　　ダブルキャブオーバー４ドア・乗車定員６名

（6）　駆動方式　　　四輪駆動・低床式

（7）　制動装置　　　油圧ブレーキ式

（8）　タイヤ　　　　ミックス･オールシーズンタイヤ（振替スペア含む）

４　装備取付品

（1）　トランスミッション　　マニュアル

（2）　ＡＢＳ　　一式

（3）　ステアリング　　パワーステアリング

（4）　フロントエアコン　　一式

（5）　オルタネーター　　２４Ｖ－５０Ａ

（6）　ダブルキャブチルト　　油圧式

（7）　ウィンドワイパー　　ウォッシャー間欠式

（8）　エンジン油温計　　一式

（9）　エンジン油圧警告灯　　一式

(10)　オーバーヘッドコンソール　　一式

(11)　スペアタイヤ（ホイル付）　　ミックス･オールシーズンタイヤ１本
(12)　フロアマット　　　　　　　前後各席一式（純正）
(13)　予備ヒューズ　　　　　　　各一式
(14)　非常信号灯　　　　　　　　１個
(15)　車両標準工具および工具箱　一式
(16)　ＡＭ・ＦＭラジオ、時計　　一式
(17)　泥よけ　　　　　　　　　　全輪取付
(18)　三角停止板　　　　　　　　１個
(19)　タイヤチェーン　　　　　　一式
(20)　バックブザー　　　　　　　一式（音声式）
(21)　補助灯（フォグランプ）　　一式
(22)　路肩灯　　　　　　　　　　車体左右下部一式
(23)　サイドバイザー　　　　　　４個所
(24)　予備キー　　　　　　　　　５個
(25)　パワーウインドウ装着

Ⅲ　艤装全般

消防車の艤装については、納入後における故障時のメンテナンスサービスを考慮し、日本消防検定協会の鑑定に適合する消防ポンプ自動車を製造する艤装事業者のうちから、メンテナンスサービスの拠点地より３時間以内に対応の可能な次の事業者により艤装を施工するものとする。

（１）　小川ポンプ工業㈱
（２）　ＧＭいちはら工業㈱
（３）　長野ポンプ工業㈱
（４）　日本機械工業㈱
（５）　日本ドライケミカル㈱
（６）　㈱モリタ

Ⅳ　ポンプ装置

１　主ポンプ

高圧二段バランスタービンポンプ
性　　能　Ａ－２級
放水圧力　送水圧力 0.85MPa において放水量 2,000 ㍑／min 以上
　　　　　送水圧力 1.40MPa において放水量 1,400 ㍑／min 以上

高圧二段バランスタービンポンプの羽根車ポンプケースは、日本工業規格に基づくねずみ鋳物品（ＦＣＤ）とし、ポンプ軸はステンレス鋼（ＳＵＳ）、重要動力伝導軸は機械構造用炭素鋼鋼材（ＳＣ）、重要動力伝導歯車は構造用合金鋼（Ｈ鋼）とする。

２　主ポンプ動力伝導装置

クラッチハウジングとトランスミッションの間にポンプミッション（シャシメーカー純正品使用）を設置する。操作は、運転席より容易に動力の接／断ができるものとする。

３　真空ポンプ

大型六翼の偏心ロータリポンプとする。吸水配管内の空気を効果的に排除する装置を設けること。伝導はロータリークラッチ、または電磁クラッチにより動力を伝導する構造とし、手動レバーまたは押しボタンを右側板に設けるものとする。

自動揚水装置による押しボタン式スイッチを、左右両側板に設ける。
　真空性能：吸管外端閉塞にて３０秒以内に試験時大気圧の８４％以内とする。
　排気容量：１回転で１．１㍑以上とする。

４　自動揚水装置

揚水操作にかかわる真空ポンプの作動、停止及び回転数の制御を自動的に行い、ポンプの始動時及び運転中の機能をチェックし、ランプ及びブザーにて警報する装置を計器盤に機能的に組込むものとする。

5　吸水口

７５㎜ボールコック（ストレーナー付）をポンプ室両端、後輪タイヤハウス付近に各１個設け、７５㎜×１０ｍの吸管を容易に引き出せるよう、右側は自在エルボ付で、左側は自在らくらく４５°エルボ付で取付ける（連続呼水装置付）。

6　放水口（吐水口）

６５㎜ボールコック付放水口（吐出口）をポンプ室両側に各２個設ける。また、媒介を両側に各２個設ける。

7　中継口

６５㎜ボールコック付中継口を、左右側板に各１個設ける。（ストレーナー付）

8　ステッピングモータを用いた電子式（透過光照明灯・ゲージ部作動確認ランプ付）ポンプ圧力計（φ100㎜）及び連成計（φ100㎜）をポンプ室両側、放水口上部に各１個取付ける。

9　ポンプ回転計をポンプ室両側に取付ける。

10　流量計をポンプ室両側に取付け、左右の放水流量を表示（流量により表示色が変化）する。尚、安全確保のためにモードを切り替えることにより放水反動力を表示できること。

11　流量積算計及びポンプアワーメーターをポンプ室両側に取付ける。

12　ポンプ室両側、放水口上部にポンプ操作盤（多目的表示液晶ディスプレイ）を設け、ポンプの吸水から吐水までの一連の状況をフローシート式に表示するものとする。

また、コックの開閉状況やバイパスバルブの開閉確認の表示灯を取付ける。

13　ポンプ室両側に誤作動防止対策としてスロットル固定スイッチを電気式にて取付けるものとする。スロットル固定状態では、スロットルダイヤルを回してもエンジン回転が加速する方向には作動しない構造とする。なお、減速方向には操作できるものとする。

14　スロットルの誤作動による圧力上昇を防止するため、上限圧力設定機能を設け、ポンプ室両側にスイッチを取付ける。上限圧力設定時に吐水パイプの圧力が設定圧力以上になると、自動的に設定圧力以下に制御する構造とする。

15　ポンプ室内の配管は、吸水・吐水抵抗を低減するため可能な限り直線状にするものとする。

16　スイッチ類・計器類・操作盤等は点検・修理・交換等のために容易に取外しが可能なように取付ける。

17　右側吐水配管内の空気を排除できる装置を取付ける。

18　左側吐水口付近に（色水）吸水ができる装置を取付ける。

Ｖ　キャビンの艤装

1　キャビンの構造は、全鋼板製ダブルキャブオーバー型とする。

2　キャビン内の床面はできるだけ低くし、エンジン部の点検が容易に行える構造とする。

3　キャビンのドアは４ドア式とし、両側各ドア部には乗降用手摺棒を設ける。

4　キャビン内の座席は、前部３名、後部３名掛けとする。

前部座席のシートはシャシ固有のものとし、座席裏面に住宅地図等が収納可能なポケットスペースを設ける。

後部座席のシートの下部に小物機材等の収納ボックスを設ける。

5　後部座席前方に外径３２㎜のステンレス製の手摺棒を設け、手摺棒には取外し可能な可動式のフック５個を取付ける。

6　キャビンフロントパネル中央に消防団章を取付ける。

7　吸管止め金にあっては、ワンタッチ開錠式のものを左右とも上下２箇所に取付ける。

《警報・照明・電装関係》

8　補助灯（フォグランプ）はクリアとし、シャシ固有もしくは取付けによりフロントバンパー埋め込み、もしくはフロントバンパー上面の左右に２個、取付けられていること。

9　キャビン内を有効に照明できる蛍光灯式室内灯（10W以上）をキャブ内中央に設け、いずれかのドアが開いた場合に点灯し、閉じた場合には自動的に消灯する構造とする。また、ドアを閉じた状態でも点灯できるスイッチを設ける。また夜間の点灯時、運転に支障がないよう運転席に光が漏れない構造とする。また、助手席側にマップランプを取付ける。

10　キャビン内に、交流 100Ｖコンセントインバーター（正弦波 300W程度、無線機用の 24Ｖ電源でメインスイッチに連動したもの）を２口設置する。

11　キャビンの上面に、赤色回転灯（ウイング型散光式、点滅ユニット内蔵、スピーカー１個内蔵、標識灯付き、㈱大阪サイレン製作所　ウイングフラッシュ WF-ML-VB1-LF-M 、または同等品）１個、無線用アンテナ２本を設置する。

12　モーターサイレン（㈱大阪サイレン製作所 5SA 型、または同等品）を赤色回転灯（警光灯）に内蔵し、天井コンソールボックスの機能集中型操作スイッチ盤に設けたスイッチ（自照式またはパイロットランプ付）を押すことにより、外部に広報できるようにする。

13　キャビン上面にある赤色回転灯に付属する標識灯は、天井コンソールボックスの機能集中型操作スイッチ盤に設けたスイッチ(自照式またはパイロットランプ付)を押すことにより、点灯できるようにする。

14　電子サイレンアンプ（警光灯連動タイプ、出力 50W、電子警鐘付、音声合成機能付、マイク付、㈱大阪サイレン製作所 TSK-5102V、または同等品）を天井コンソールボックスに設け車両上部赤色回転灯・車両前部赤色点滅灯（LED 式）・車両後部赤色点滅灯（LED 式）・車体後部側面赤色点滅灯（LED 式）が連動して操作できるようにする。

右折・左折・後退時は、車両操作に連動して音声で外部に広報できるようにする。

また、渋滞通過（走行注意）時も天井コンソールボックスの機能集中型操作スイッチ盤に設けたスイッチ（自照式またはパイロットランプ付）を押すことにより、音声で外部に広報できるようにする。

15　フロントバンパー上面に、赤色点滅灯（LED 式：赤色回転灯と連動、㈱大阪サイレン製作所 LF-12、または同等品）を左右に２個取付け、専用プロテクターを取付ける。キャブ前面足場用として必要な箇所にアルミ鋼鈑を貼る。点滅ユニット（LV-4、または同等品）を車体の適当な箇所に設置する。

16　赤色点滅灯（LED 式：赤色回転灯と連動、㈱大阪サイレン製作所 LF-21C、または同等品）を、車両最後部の後方からよくわかる位置の左右側板上部に各１個取付ける。点滅ユニットについては、15 に記載の物で連動させる。

17　赤色点滅灯（LED 式：赤色回転灯と連動、㈱大阪サイレン製作所 LS-270-1、または同等品）を、車両側面上部に左右各１個取付ける。点滅ユニットについては、15 に記載の物で連動させる。

18　キャビン内天井部コンソールボックスに機能集中型操作スイッチ盤を設け、指定した装置の電源の入・切ができるようにする。また、それぞれの各スイッチは自照式またはパイロットランプ付とし、操作盤に名板付で整然と取付ける。

19　各装備品の電気配線及び無線電話装置の各工事は、キャビン内の内貼内を通し、キャビン本体の貫通部は雨水等の漏れを防止する構造とする。

20　車両用蛍光灯（20W程度：㈱大阪サイレン製作所 KL-200、または同等品）を車両両側にあるポンプ操作部に、車両用蛍光灯（10W程度：㈱大阪サイレン製作所 KL-100、または同等品）を車両後部のシャッター上部に、標識灯（10W程度×２灯：㈱大阪サイレン製作所 SL-Y、または同等品）をキャビン上部左側後部に、室内灯をポンプ室上部収納庫・後部収納庫に設け、夜間作業に支障のない照度を有すること。

キャビン前部天井コンソールボックスの機能集中型操作スイッチ盤にそれぞれスイッチ（自照式またはパイロットランプ付)を設け、押すことによりそれぞれ点灯できるようにする。

21　バッテリーは、引き出し型とする。

22　サーチライト（ハロゲンランプ 24Ｖ、55ｗ以上、手動伸縮型）を、右側車体前部に取付け、スイッチは下部に設ける。

23　サーチライト（ハロゲンランプ 70ｗ、手動伸縮型）を左側車体後部の作業しやすい位置で、走行時等の振動で電球が切れにくく、操作（伸縮・方向変更）の容易な構造として取付ける。（ただし、管そう取外しに支障のない位置とする。）スイッチは下部に設ける。

24　キャビン天井部コンソールボックスに防災行政無線機（現有品）、消防受信機、サイレンアンプ、機能集中型操作スイッチ盤を設置する。また、「防災行政無線・防災はちまん 18」「消防受信機」「サイレンアンプ」「操作スイッチ盤」と表示する。

25　バッテリースイッチについては、ラジオ・時計等の保護電源の必要なもの以外すべての電装品の入・切が一括してできる構造とする。活動時に安易に操作出来ない位置に取付ける。

26　キャビン内天井部の内装は、電装品及び各配線の取付箇所の点検が容易にできる構造とする。

Ⅵ　車体の艤装

1　車体側板は一般構造用圧延鋼材（ＳＳ）を使用し、周辺を外側に折り曲げ加工し、平坦なアルミ縞板とする。各ステップは、アルミ（ｔ３．５）鋼鈑にて端部周辺を折り曲げ加工した構造とする。

2　ポンプ室のポンプが容易に点検できる構造とする。

3　ポンプ室側板は、密閉型とし点検手入れが容易な構造とする。

4　車両上面右側に、アルミ２連梯子を固定し、車両後部より容易に取出せること。

5　車両上面左側に、剣先スコップ（現有品）と角スコップ（現有品）各１本を、雨天時、雨水の溜まらない方法で設置する。

6　両側のサイドステップは前輪後端まで延長し、アルミ縞鋼板（ｔ3.5）にて仕上げ、ステップの角には、滑り止めを付けること。両サイドのステップ後方から後輪タイヤハウスまでに資機材収納箱を取付け、箱は雨水の入らない構造とする。（大きさは、H 300 ㎜×W 250 ㎜× L 500 ㎜程度とし、車両乗降時、作業時に支障のない位置、大きさとする。）

　また、リヤサイドステップは、左右とも端部から 10cm 程度斜めに切り欠いた形状とする。

7　ポンプ室上部及び後部ボディー前部の空間を最大限に利用し、アルミ製シャッター付収納庫を設けホース等の消防資機材を収納できるようにする。なお、ポンプ室点検スペースは確保すること。

8　車体後部内にアルミ製シャッター付き収納庫を設け、小型動力ポンプ（現有品）を積載する。また、小型動力ポンプが容易に収納・取出しができるよう、レール式の収納装置を設け、引出し中間部で固定できるよう設置する。車体のいずれかに小型動力ポンプの吸管の取付器具を設ける。

9　車体後部収納庫上部は、棚を取付けホースブリッジ２個（現有品）（コンパクトブリッジ CB450-W、または同等品）を収納し、フックを取付けゴムバンドで固定する。簡易発電機（現有品）を積載しフックを取付けゴムバンドで固定する。

10　加納式軺車（現有品）全面を消防車と同色（消防朱色）で塗装した後、前面に安土分団と記入し、底面に反射板を取付け安土分団と記入する。タイヤ２本を交換し車体後部に積載する。ただし、管そうを取付けた状態で積載できること。

11　管そう２本（ヨネ PP-65・ＥＸＳ・Ｌ、または同等品）を車体後部内左右に取付ける。管そう２本には、ノズル（ヨネ NV-65B、または同等品）を取付ける。

12　スタンドパイプ（1000㎜）、万能斧、消火器（６kg 入り）１本を後部収納庫内の左側に、大ハンマー、バール、ボルトクリッパーを後部収納庫内の右側に、万能バール（ＦＨバール、または同等品）を右吸管巻上部に、ヨネプロジェットガン（現有品）を左吸管巻前方に金具を設けて確実に取付ける。

13　差込オス媒介・差込メス媒介（65㎜）を右側吸管部内に金具を用いて確実に取付ける。

14　車輪止は、右側吸管巻内に取付け、取出しやすく、走行時に脱落しない構造とする。

15　スタンドパイプ（現有品）及び分岐管を左側吸管部内に金具を用いて確実に取付ける。

16　とび口（1.8m）２本を左側側面上部の脱着しやすい位置に取付ける。この内、１本は斜め

取りが出来るようにするとともに、とび先金具保護部は脱着に支障のないような形状にする。

17　吸管スパナを車体両側面に金具を用いて確実に取付ける。

18　車両上部に登れるようにアルミ製の折畳式ステップを車体両側面及び後部面に設ける。

19　車両上部での作業時の転落防止のため、車両上部周囲に手摺りを設置する。

20　横断幕（2.5m×1m程度、木綿製、赤地、白文字「火の用心・近江八幡市消防団安土分団」）２枚を、走行時、風の抵抗を考慮して取付金具を設け、車体側面に安全・確実に取付ける。

21　燃料給油口は、車体側面に扉付きで設ける。反対側は、側板取付け仕上げとし左右対称とする。

22　後部ナンバープレートの位置は、左側上部とし、ナンバープレートの破損を防ぐために保護プレートを設ける。

23　車両ナンバーは、指定ナンバー「９１１９」で申請し取付ける。（申請等諸費用含む）

24　後部両側上部に旗立てパイプを設ける。走行中に外れることのないよう、安全・確実に取付けられる構造とする。訓練旗２本を納車時に手渡す。

25　マグネットシート（横60cm×縦25cm）に「訓練」と黒色丸ゴシック体にて記入しラミネート加工を施し、納車時に手渡す（２枚）。

26　艤装にあたっては、シャシフレームの強度を保つため、シャシフレーム本体へ直接に溶接加工を実施してはならない。

27　本仕様書に記載されてない事項についても、取扱い上必要と認められた場合は別途協議し工作するものとする。

28　塗装及び文字は、次のとおりとする。

（１）　塗装及び色分け

ア　塗装面は錆止めをし、油類の清掃洗浄を完全に行い、乾燥を十分に行った後に塗装する。

イ　指示する以外の車体塗装は朱色とし、塗料はVOC（揮発性有機溶剤）削減、環境負荷物質（鉛など）を一切含んでいない等の環境を考慮したハイソリッドウレタン塗料を使用すること。

ウ　車体収納庫内は、オリエンタルグリーン色で塗装する。

エ　車体の下廻りは、黒色塗装とする。

オ　キャビン内部は、シャシメーカーの標準色とする。

カ　アルミ縞板使用部は、無塗装とする。

キ　加納式輅車（現有品）全面を消防車と同色（消防朱色）で塗装する。

（２）　塗装要領は次のとおりとする。

車体全般の塗装は素地調整・プライマ塗り・水磨き等充分に行い、仕上げ塗りに良質のウレタン樹脂塗装を行う。

（３）　車両本体のドアの両側及び団名標識灯、後部収納庫シャッター、後部車体、車体上面足元灯、輅車に指定文字を記入するものとする。

ア　ドアの両側に「近江八幡市消防団」と白色丸ゴシック体にて記入する。

文字寸法は、ドア寸法に合わせバランスをとる。

イ　団名標識灯（散光式警光灯中央標識灯）に、前方から視認できるよう「近江八幡市消防団」と黒色丸ゴシック体にて記入し文字寸法は、標識灯に合わす。

ウ　ポンプ室上部収納庫シャッターに「安土のイメージマーク等」を、車両後部収納庫シャッターに「安土分団」を黒色にて記入する。大きさは、シャッターの大きさに合わし、デザインや字体は別途提示・協議する。

エ　車体後部に、「 平成２５年２月 」（納車年月）と白色丸ゴシック体にて記入する。文字寸法は、６０mm角程度とする。

オ　キャビン上部左側後部の標識灯に「安土分団」と黒色丸ゴシック体にて記入する。文字寸法は、標識灯に合わす。

カ　加納式輅車（現有品）の前面及び底面に「安土分団」と白色丸ゴシック体にて記入す

る。

Ⅶ　無線装置

無線装置は、防災行政無線機（現有品）・消防受信機１台を指揮者席（助手席）前方天井コンソールボックスに専用金具を設けて確実に取付ける。消防受信機のスピーカーはトランペット型とし、キャビン前部助手席足元の乗降時・走行時に支障がない場所に取付ける。外部スピーカーは、ポンプ室両側計器類付近に埋め込み型に取付ける。また、内・外部スピーカー切替スイッチをコンソールボックス内に設ける。

消防受信機及び防災行政無線機のアンテナは、電波障害の発生しない位置のキャビン上部に取付け、キャビン内には雨水等が入らないようにケーブルを取り入れキャビン天井内部はチャック等を設け、保守管理が容易なものとする。キャブ天井のＵ字管は、デジタル無線化に対応するため、２箇所設ける。

取付位置等は近江八幡市と事前に協議する。工事は、無線装置本体取付け、アンテナ取付け、及び配管配線工事一切とする。

Ⅷ　補則

シャシ及び取付品は新規製品とする。

本仕様書に定めのない事項についても、業者の公表した仕様ならびに機能上及び工作上当然必要と思われるものは施工し、また本仕様書に疑義及び不明事項が生じた場合は近江八幡市の指示に従うものとする。

取付装置及び取付品は次に掲げるものであり、取付位置の指定のないものにあっては別途協議する。

《取付装置》

品　　名	型 式 等	取付・収納位置	数量
ポンプ圧力計	透過光式	ポンプ室左右側板の計器盤上に各１個に取付け	２個
ポンプ連成計	透過光式・リタード式	ポンプ室左右側板の計器盤上に各１個に取付け	２個
真空・揚水表示灯		ポンプ室左右側板の計器盤上に各１個に取付け	各２個
ポンプ回転計		ポンプ室左右側板の計器盤上に各１個に取付け	２個
流量計		ポンプ室左右側板の計器盤上に各１個に取付け	２個
流量積算計		ポンプ室左右側板の計器盤上に各１個に取付け	２個
アワーメーター		ポンプ室左右側板の計器盤上に各１個に取付け	２個
ポンプ室内灯		ポンプ室内に取付け	１個
電子サイレンアンプ	警光灯連動タイプ、 出力 50W、電子警鐘付、 音声合成機能付、マイク付 ㈱大阪サイレン製作所 TSK-5102V、または同等品	天井コンソールボックスに取付け	一式
赤色回転灯（警光灯） サイレンスピーカー	ウイング型散光式、スピーカー１個内蔵型、標識灯付、 ㈱大阪サイレン製作所 WF-ML-VB1-LF-M、または同等品	キャビン上部中央に取付け	一式
モーターサイレン	㈱大阪サイレン製作所 5SA 型、または同等品以上	赤色回転灯（警光灯）に内蔵、スイッチは天井コンソールボックスに取付け	１個
前部 LED 発光式警光灯 赤色点滅灯 （点滅ユニット含む） （赤色回転灯に連動）	㈱大阪サイレン製作所 LF-12×２および LV-4、 または同等品	フロントバンパー上部に取付け（専用プロテクター取付け）	一式
後部 LED 発光式警光灯 赤色点滅灯 （点滅ユニット含む） （赤色回転灯に連動）	㈱大阪サイレン製作所 LF-21C、または同等品 （点滅ユニットはLV-4 共用）	最後部左右両側上部に取付け （吸管伸張作業の妨げにならない位置）	２個

後部 LED 発光式警光灯 赤色点滅灯 （点滅ユニット含む） （赤色回転灯に連動）	㈱大阪サイレン製作所 LS-270-2×２および UF-2S、または同等品 （点滅ユニットはLV-4共用）	車体後部側面左右両側上部に取付け （吸管伸張作業の妨げにならない位置）	２個
機能集中型操作スイッチ盤	㈱大阪サイレン製作所 SBW-100、または同等品	天井コンソールボックスに取付け	１台
キャビン上部左側後部標識灯	黄色プラスチック製： 10W程度×２灯 ㈱大阪サイレン製作所 SL-Y、または同等品	キャビン上部左側後部に取付け	１個
後部作業灯	蛍光灯 10W程度 ㈱大阪サイレン製作所 KL-100、または同等品	車体後部中央シャッター上に取付け	１個
側面部作業灯（計器灯）	蛍光灯 20W程度 ㈱大阪サイレン製作所 KL-200、または同等品	車体側面（右・左部）のポンプ操作部・計器盤上部に取付け	２個
交流 100Ｖコンセントインバーター	正弦波 300W程度	キャビン内に取付け	２口
フォグランプ	クリア、シャシ固有または後付け	後付けはフロントバンパー上面に取付け、または内蔵	２個
バッテリースイッチ	ラジオ・時計等の保護電源の必要なもの以外全ての電装品の入・切ができるもの	運転席近く、活動時に誤って操作できない位置に取付ける	１個
エンジン回転計	シャシ固有のもの	運転席計器パネルに取付け	１個
エンジン油温計	シャシ固有のもの	運転席計器パネルに取付け	１個
エンジン室内灯	シャシ固有のもの	エンジン室に取付け	１個
バックライト	シャシ固有のもの	車体後部に取付け	１個
バックブザー	シャシ固有のもの	車体後部に取付け	１個
路肩灯	シャシ固有のもの	車体下部に取付け	１個
泥よけ（ゴム製）	シャシ固有のもの	全輪に取付け	４個
サーチライト	ハロゲンランプ　24Ｖ 55W以上、手動伸縮型	車体後部右側前方に取付け	１個
サーチライト	ハロゲンランプ 70W、手動伸縮型	車体後部左側後方に取付け	１個

消防団章		車体前面中央部に取付け	１個
消防受信機		天井コンソールボックスに取付け	一式
防災行政無線機（現有品）	NEC 製 TR4M5W-8AT 型（50H×125W×170L）	天井コンソールボックスに取付け（ぼうさい１８）	一式
アンテナ	消防受信機用、および防災行政無線機用	キャビン上部に取付け	２本

《取付品》

品　　名	型 式 等	取付・収納位置	数量
吸水管（右側）	75 ㎜×10ｍ（金具･エルボ付）オーサカゴム㈱WS-200、または同等品	右側吸水口に取付け	１本
吸水管（左側）	75 ㎜×10ｍ（金具・らくらく 45° エルボ付） オーサカゴム㈱WS-200、または同等品	左側吸水口に取付け	１本
吸水管止め金	ワンタッチ開錠式	両側吸水管収納箇所上下に固定取付け	４個
吸口ストレーナー	プラスチック製	両側吸口に取付け	２個
吸管ストレーナー	プラスチック製	両側吸管に取付け	２個
吸管ちりよけ籠	籐製	両側吸管に取付け	２個
吸管枕木	ゴム製	車体後部収納庫に収納	２個
吸管ロープ	φ10 ㎜×15ｍ、ゴムバンド付	吸管ちりよけ籠に取付け	２本
中継口ストレーナー	プラスチック製	車体両側中継口に取付け	２個
中継用媒介金具	65 ㎜ネジメス×65 ㎜差込メス（ＡＣ）	車体両側中継口に取付け	２個
放口(吐水口) 媒介金具	65 ㎜ネジメス×65 ㎜差込オス（ＡＣ）、取付金物	両側放口(吐水口)に各２個取付け	４個
乗降用手摺	車両乗降時の危険防止のため、φ30 ㎜程度	車体各ドア部に取付け	４ヶ所

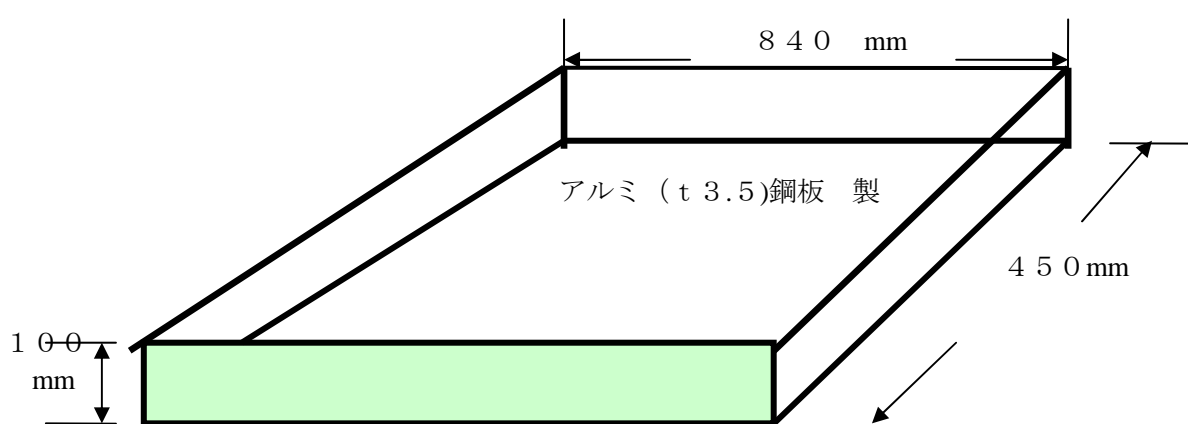
資機材収納箱	後部座席下収納箱		１個
アルミ２連梯子	４ｍ程度	車体上部右側に取付け	１脚
アルミ２連梯子固定金具	アルミ２連梯子　の収納・固定が簡単・確実に出来、使用時は容易に取り出せること	車体上部右側に取付け	一式
スコップ（剣先スコップ）（現有品）	標準型スチール製	車体上部左側に取付け	１丁
スコップ（角スコップ）（現有品）	標準型スチール製	車体上部左側に取付け	１丁
スコップ用固定金具	スコップ２丁が、雨天時、雨水の溜まらない方法で、収納・固定が簡単・確実にできること	車体上部左側に取付け	一式
資機材収納箱	H 300 ㎜×W 250 ㎜×L 500 ㎜ 程度の大きさ	車両両サイドステップ（後部ドアより後ろ後方からタイヤハウスまでに取付け）	一式
小型動力ポンプ（現有品）		車体後部収納庫に収納	１台
小型動力ポンプ吸管取付器具		車体のいずれかに取付け	一式
ホースブリッジ（現有品）	コンパクトブリッジ CB450-W	車体後部収納庫に収納	２個
ホースブリッジ収納棚	鋼鉄製	車体後部収納庫に取付け	一式
簡易発電機（現有品）		車体後部収納庫に収納	１台
加納式[illegible]車（現有品）	消防朱色に塗装、底面に反射板を取付け、前・底面に「安土分団」と白色丸ゴシック体で記入。（タイヤ交換）	車体後部に積載	１台
分岐管（双口接手）（現有品）	ヨネ：WB－65・65	輓車に取付け	１個
分岐管（双口接手）	ヨネ：WB－65・65、または同等品	左側吸管部内に取付け	１個
ロープ引き上げ式消火栓媒介アダプター	ヨネ：PR-75.BMP、または同等品	車体後部収納庫に取付け	１個

媒介継手取付金具	差込式：メス 65mm 用（分岐管用）	左側吸管部内に取付け	１個
管そう	65mm 用、ヨネ PP-65・EXS・L、または同等品	車体後部ステップ、右部および左部に取付け	２本
可変噴霧ノズル	ヨネ噴霧ノズル：NV-65B、または同等品	65 mm管そうに取付け	２個
管そう取付金具	65mm 用管そう用	車体後部ステップ、右部および左部に取付け	２個
スタンドパイプ	ﾖﾈ PS-65 1000、または同等品	車体後部収納庫に収納	１本
万能斧	鋼鉄製	車体後部収納庫に取付け	１丁
消火器	ABC 型･6 kg 入り自動車用（ストッパー付）	車体後部収納庫に収納	１本
両口ハンマー（大ハンマー）	長さ 900 mm、重さ 4.5Kg 程度	車体後部収納庫に収納	１丁
バール	長さ 900 mm程度	車体後部収納庫に収納	１丁
ボルトクリッパー	長さ 600 mm程度	車体後部収納庫に収納	１丁
万能バール	ヨネ FH バール、または同等品	車体上部に収納	１丁
プロジェットガン（現有品）		左側吸管巻部前方に取付け（ガン取付金具）	１丁
差込オス媒介・差込メス継手取付金具	差込式：メス 65mm 用（差込式メス 65×差込式メス 65 媒介用）	右側吸管部内に取付け	
車輪止め	ゴム製	右吸管巻部内に取付け	１組
スタンドパイプ（現有品）	ﾖﾈ PS-65、または同等品	車体後部収納庫に収納	１本
とび口	1.8m	車体左側面上部に取付け	２丁
吸管スパナ	左右各１	車体両側面吸管付近に取付け	２丁
アルミ製折畳式ステップ	車両上部に登るためのもの	車体両側面、後部に取付け	３ヶ所

手摺	車両上部での作業時の転落防止のため、φ30㎜程度	車体上部周囲に取付け	４本
啓発用横断幕	木綿製、赤地、白文字 2.5m×1m程度（サイズは車体に合わせ、車体に装備できる取付穴を設ける）	車体後部左部および右部に取付け	２枚
啓発用横断幕取付金具	車体に確実に装備できるよう、取付穴に合わせて金具を設置する	車体後部左部および右部に取付け	一式
ナンバー保護プレート	ナンバープレートの破損を防ぐもの	車体両側面、後部に取付け	１個
訓練旗	木綿生地（のぼり旗） 白地・赤文字 45×30cm	２枚手渡し	２枚
旗立てパイプ	旗が安全・確実に取付け出来、走行中に外れない構造とする	車体最後部両側上部	２本
マグネットシート	白地、黒文字「訓練」 横60cm×縦25cm	納車時に手渡し	２枚
牽引ロープ	フックタイプ、4.5ｔ、４ｍ	車体後部収納庫に収納	１本
タイヤチェーン	シングルバンド付	車体後部収納庫に収納	一式
工具および工具箱	グランドスパナ×１、冷却水ストレーナーキャップ用スパナ×１、１ポンドハンマー×１、シャシ付属品	車体後部収納庫に収納	一式
ポンプ操法用ホース棚	軺車を外した状態で、車体最後部に取付けられること	軺車を外した状態で、車体最後部に取付けられる	一式
消防ホース（現有品）	アシモリジェットホースライト　ダイヤ65㎜×20m、または同等品	ポンプ室上部収納庫中央部右部および左部に収納	10本

※　現有品とは、現安土分団車両（滋賀８８す３９０２）搭載品

（別紙）

ポンプ操法用ホース棚　仕様図面

車体最後部ステップに、輅車を外した状態で
差し込み式で取付けられるように裏面を加工する。